

視点を変えれば、 世の中は変わる。

たとえば
半分だけ水の入ったコップを見て、
もう半分しかない、と思うか、
まだ半分もある、と思うか。

視点を変えれば、
世の中の見え方は変わってきます。
当たり前だと思っていたことでも、
違う視点から見つめ直してみると、
新しい発見があることがあります。

Rethinkフォーラムは、
一人では気づけない
新しい視点に気づくことで、
地域活性化のきっかけを見つめる場です。

視点を変えれば、世の中が変わる。
地域が変わる。
未来を変える発見は、
意外と身近に
あるのかもしれない。



「Rethinkフォーラム～視点を変えれば、世の中は変わる。～」(主催:福井新聞社、後援:福井県、福井県教育委員会、福井市、福井市教育委員会、福井商工会議所)が11月18日、福井市のホテルフジタ福井で開催されました。第1部は女優・モデルの高橋愛さんが「私らしく輝く視点」と題してトークショーを、第2部は高橋さんと福井県副知事・鷲頭美央さん、グランディア芳泉の女将・山口由紀さんが、「私らしく、女性が輝ける幸福県ふくい」をテーマにパネルディスカッションを行いました。要旨を紹介します。

ゲスト



たがはし あい
高橋 愛氏 (女優・モデル)
演題: 私らしく輝く視点

1986年福井県生まれ。モーニング娘。5期メンバーとして10年間在籍し、6代リーダーおよびハロー!プロジェクトのリーダーとして活動。2011年から「ふくいブランド大使」に就任。グループ卒業後は女優としてミュージカルや舞台・ドラマで活躍。現在はモデルをはじめプロデュースブランドを立ち上げるなど、活動の幅を広げている。

☆ 好きなこと、やりたいことを買ってきた ☆

「福井に帰ってきたな」と感じる時は。また県外に出て福井の見方は変わりましたが。
おろしそばを食べる時は「ただい」という気持ちになります。元々福井は好きでしたが外に出てみても好きになりました。「なんていいとこやたんやろ」って思います。一どんなお子さんだったんでしょ。
男の子がいていうくらいやんちゃで、ケガをして病院から親に電話が入った事も何回あります。やりたいことに一直線で、バレエも頼み込んで習わせてもらったし、モーニング娘。のオーディションを受ける時は、親に「入ってゴマキを抜くんや」って。必死で説得して出てきた言葉ですが、自分でも驚いてましたね。
一モー娘。加入は、福井ではトップニュースの扱いでした。友達には「何で話してくれんかったんや!」と怒られて、もちろん「良かったね、頑張った」と励ましてくれました。でも当時はとにかく目まぐるしくて、あまり記憶にないんです。すぐに覚えなれない歌やダンスがあって、1日に2、3曲やるって翌日にはまた違う曲で、脳みそが追いつかない。「あ、こんなに踊るんだ」ってびっくりしました。

★リーダーも「自分らしく」
一20歳でリーダーになり4年間務められました。
本當に急だったのですが、逆に良かったのかもしれない。つんくくさんに「なんで私が」と聞いたら「年功序列です」って。

単純明快で納得しました。自分はリーダーの器ではないと自覚していたので、「高橋ならできると思って」と言われたらすごいプレッシャーだったと思います。それでもどうしようって感じだったんですが、初代リーダーの中澤裕子さんに「愛ちゃんらしくやればいいよ」と言っていただいて楽になりました。周りのメンバーも「愛ちゃんに任せておけない」って助けてくれて。組織って、上が抜けていると下がしっかりするってこともありますよね(笑)。
一リーダーとして工夫していたことは。
立場が変わって、自分なりに「Rethink」はしました。それまで、番組収録の時などは自分が話す内容を考えていたけど、全体を見てしゃべっていない子に話を振ってあげようとか。それと、リーダーになった時に加入した9期のメンバーとは、1対1で話す時間を取りました。怖がられていたかなと思いましたが、私は話をしたくて。それで近くなれた感覚はあります。私はグループを常に統率しようとは思ってなくて、普段はみんな自由に任せていざという時に集中できればいいかなと。本番前に陣組んで気合を入れるのがリーダーの仕事。みたいな一10年間のモーニング娘。の活動を振り返っていかがですか。
夢中で走ってきて、本当にあっていう間。そして卒業してから「私こんな素敵なグループにいたんだ」って改めて思いました。当時は目の前のことに必死で「こうしなきゃ」に追われていたけど、外に出て見方が変わって「モーニング娘。って、なんてかっこいいの」って、もっと好きになりました。ハロー!プロジェクトの25周年コンサートに出演させてもらった時も、クールな曲なのに一緒に踊るのが嬉しくて、クールな

曲なのにずっと笑顔になっちゃいました。
★違う意見を取り入れてよりよいものを作る
一現在は女優やモデル、ファッションブランドなど多方面で活動されていますが、意識されていることはありますか。
「いいものを作る」にブレないこと。自分の中でそこは一貫しています。自我を過すってことではなくて、みんなで意見を出し合って納得できるものを作りたいですね。それは楽曲などすべてに言えると思います。「売れるもの」だけなら誰かやってもいいので、「高橋愛ならではの」とのバランスをどう取るか。モノづくりは異なる意見を取り入れながらRethinkしていく、その過程が楽しくてやめられないです。他にもスタイリストをしたり、歌詞を書いたり、YouTubeしたりと「何屋さん?」って言われるくらいなんですけど、全部私で全部楽しいです。
一とどん夢を実現してはいますが、これからの夢は。
いっぱいありますが、今思っているのが「福井を世界」へ。福井のいいものは世界で価値があると信じています。新幹線開業で福井にもインパウンドが増えると思いますが、海外の人たちの方が福井のいいものを知っていたりするんです。恐竜博物館もそう。鱈江がめがねなら、東郷坊は日本のハリウッドとして売り出してはと。福井に住んでいると気付かない価値を、私なりに発信していきたいです。

テーマ「Rethink福井～私らしく、女性が輝ける幸福県ふくい～」

出演者 高橋 愛氏 (女優・モデル)、鷲頭 美央氏 (福井県副知事)、山口 由紀氏 (グランディア芳泉 女将)、堀内 くみ子氏 (フリーアナウンサー)

福井の女性は頑張り屋

堀内 ご家庭の状況を含めて自己紹介をお願いします。
山口 温泉旅館の女将をしております。芦原温泉旅館協同組合女将の会では会長を務めています。子どもは3人で、8月に10人目の孫が生まれました。
高橋 夫と2人家族で、芸歴は22年になります。
鷲頭 東京生まれで総務省入省20年。昨年福井県の総務部長として赴任し、8月から副知事を務めています。小1と小4の女の子がいて、夫は東京です。
堀内 鷲頭さんは本県初の女性副知事として女性活躍を推進するお立場です。福井の女性の印象はいかがですか。
鷲頭 忍耐強く仕事も家庭も頑張っておられる。数々のデータもそれを裏付けています。
山口 我が家は旅館とは渡り廊下でつながっていて、常に気を張る生活です。子どもが小さい時は事務所の机の上が子どものベッドになったこともあり。福井の自営業の方は似たような経験をされていると思います。
高橋 母も弱音を吐かない人です。いつも褒めて私を応援してくれました。福井の女性の強さは、映画「おしよりん」に出演した時も感じました。
鷲頭 福井の女性はもう十分頑張っているの、女性活躍もただ「頑張れ」ではなく、それぞれの思いを支えていく方向に変えていきたいと考えています。「これをやらなければいけない」という考え方じゃなくて「じゃあこれをチャレンジしてみよう」となれるよう、やっぱりそこはRethinkじゃないですけども、ちょっと変えていかなきゃいけない部分なのかなと思います。

視点を変えたと関係性も変わる

堀内 家庭での役割分担と、心がけていることは。
高橋 家事は気づいた方がやるのですが、実際はあべさん(お笑い芸人のあべこうじ)が8割。だから「ありがとう」しかないです。相手が聞かせるまで言います。
山口 そうした助け合いはこれから大事ですね。私たちの世代は「家事は女性」だったの、忙しくなると「何で私だけ」という葛藤がありました。でも子育てを終えて余裕ができた時、「女将業も家のことも自分のペースでやらせてもらっているから、お互い様」と思えるようになってきました。
鷲頭 夫は仕事も同じで友達の延長で結婚したので、一番の相談相手でもあります。東京では家事を分担して、日曜の夜に仕事の都合を確認して子どものお迎えを決めていました。相手の状況を理解することで助け合えるのだと思います。
堀内 パートナーとの関係性は大事ですね。
高橋 あべさんとは仕事の話もよくします。違う考えを聞く勉強になりますね。私は両立というよりいつもの生活がそのまま仕事になったりするので、「大変だね」と言う人もいますが、全部好きなことだから平気です。できない時はやり方を考えたりしますが、ダメな時はきっぱりと諦めます。ハッピーに過ごすにはそういうことも大事です。
山口 夫は私の足りない部分を、私は夫の足りないところをお互いに埋め合っていると思います。旅館のおもてなしやリニューアル等はまかせてもらっていますが、支えあってこそ今があるのだと思います。
鷲頭 私は最初、福井に来ることを迷いました。でも夫が「ありがたいお話。謹んでお受けしよう」と背中を押してくれたので、「よし」と思えま

モデレーター

した。子どもたちとも話し合っ、今回は家族の選択として来ています。
女性が活躍できる環境とは
堀内 今こうやってお三方の話を聞いたこの時間というのが本當に新しい考え方、新しい視点をくれるんだなというのを、すごく感じましたし、いい時間だったと楽しんでおります。最後に福井の女性がもっと輝くために、どうしたらよいと思われませんか。
高橋 やりたいと思ったら、できない理由を考える前にやってみてほしい。一人で無理なら誰かを巻き込む。SNSを使ったり、背中を押してくれる制度だってあるはず。今は世の中のやりやすくなっているはず。邪魔をするのは、「何が言われなかな」という思い。そこを取っ払って行動を起こす。「やる」「やらない」は自分が決めてほしいです。
山口 あわら温泉ではナホトカ号の重油流出事故をきっかけに女将の会が誕生して、各旅館の女将や若女将が協力しながらあわら温泉のPR活動をしています。その仲間たちがいて、私は今ここに座っていただける感謝しています。
鷲頭 私先日女将の会の方とお会いして、苦しい時を支え合ってきた絆の深さを感じました。一歩踏み出すためには、身近な人に応援してもらえる環境が大事です。「私はこうして生きるんだ」と思ったものを頑張っているときに、一番人間が輝くと思います。いろんな苦しい時もあるかもしれないですけども、自分の中で納得感を持てれば、いろんな苦しいことも乗り越えていけると思います。私も県政初の女性副知事はプレッシャーでしたが、ママ友や同僚が喜んで応援してくれた言葉がすごく励みになりました。女性活躍って、そういうことなのかなと。仲間を応援し後押しができるような風土、地域になれば、いろんなチャレンジが生まれてくると思います。



主催/福井新聞社 後援/福井県、福井県教育委員会、福井市、福井市教育委員会、福井商工会議所 協賛/Rethink PROJECT